

令和2年12月産業経済委員会所管事務調査

(令和2年12月11日)

- 1) 1) ① 新型コロナウイルス感染症禍に対して市が行う感染症緊急対策に関する実態について
(調査主任：植木 茂)
- ② 新型コロナウイルス感染症についての今後の経済回復に必要な施策に関連して (調査主任：宮崎淳一)
- ③ 道の駅「四季彩館みょうこう」の運営状況について
(調査主任：堀川義徳)
- ④ 農業振興施設の現状及び今後の運営方針について
(調査主任：村越洋一)

2) 調査理由 (目的) :

- ① 新型コロナウイルス感染症による市内の経済的被害に対して市が行った緊急対策の効果と現状を調べる。
- ② 収束する時期が見通せない新型コロナウイルス感染症について、市内の飲食、宿泊業を中心とした今後の経済回復に必要な施策について調べる。
- ③ 7月にオープンした「四季彩館みょうこう」の運営状況について調べる。
- ④ 農業振興施設（長沢茶屋、大滝荘、深山の里、苗名の湯）の現状及びコロナ禍での今後の運営についてはどのように考えて対応しているか調べる。

3) 調査項目

- ① 市が補正した観光地域づくり事業について
 - ア 妙高安全・安心な誘客事業
 - ・新型コロナウイルス対策施設整備への補助の現況はどうか。
 - ・妙高安全安心セットの配布状況及び宿泊客の反応はどうか。
 - イ 妙高誘客広報宣伝
 - ・インターネットを使った誘客宣伝の効果はどうか。
 - ・クーポンの発行状況はどうか。
 - ウ 妙高絆ツアーの開催
 - ・実施状況と今後の開催の見込みはどうか。
 - エ 市内宿泊施設などで次回使用できる割引券等の配布
 - ・割引券の配布方法及び対象宿泊施設の範囲はどうか。
 - オ 大手ネットエージェントによる妙高市全体の観光PR・広

告宣伝

- ・ネットエージェントの選定基準と見込まれる宣伝効果はどうか。

② 今後必要と思われる施策内容と規模について

- ア プレミアム商品券の実績について配布割合と使用割合はどのようか。
- イ 国の第三次補正を見越して、今後、必要と見込まれる経済支援施策の時期、規模、内容はどうか。
- ウ 年末年始に向けた、地域活性化支援事業による各商工会等の具体的な取り組み状況はどうか。

③ 運営状況について

- ア 農産物直売所の来店人数及び販売に係わる生産者及び出荷量についてはどうか。
- イ レストランの経営状況と妙高の特徴を活かしたメニューについてはどうか。
- ウ 雪室の活用の見通しについてはどうか。

④ 農業振興施設の実態と今後の運営方針はどうか。